

甲状腺外科草子 133

心に響く歌詩：中学高校時代（後）

杉野 圭三

1960年代後半は学生運動の衰退につれて、若者たちの歌も徐々に変化をとげてきた。



この時代はビートルズの絶頂期であり、多くのヒット曲が流れていた。英語の授業用テープに上書きし（スママセン英語の先生！）聞いていた。ビートルズのリズムは好きだが、歌詞に関してはあまり響くものがなかった。

フォーククルセダーズの活動期間は1967年から1968年の2年間のみだったが熱狂的ファンも多く、その一人の坂崎幸之助は2002年に加藤和彦、北山修と一夜限りの再結成コンサートを開き話題となった。



フォーククルセダーズ 再結成コンサート（2002）

あの素晴らしい愛をもう一度

（北山修作詞、加藤和彦作曲）

あの時 同じ花を見て 美しいと言った二人の心と心が 今はもう通わない

この歌の二番の「あの時同じ夕焼けを美しいと言った二人の」の部分も良い。

その他にも、イムジン河、青年は荒野をめざす、戦争は知らない、など好きな曲が多い。オリジナルのグループより、2002年の再結成グループの方が当然、技術的レバルは高い（特に坂崎幸之助のギターは秀逸）。

サイモンとガーファングルのミセスロビンソンは映画「卒業」に使われ、出だしのダイナミックなリズムには驚かされたものだ。「サウンド オブ サイレンス」、「冬の散

歩道」、「ボクサー」など名曲が多すぎて困る。



サイモンとガーファングルのセントラルパーク再結成

明日に架ける橋（BRIDGE OVER TROUBLED WATER、Paul Simon 作詞、作曲）
Like a bridge over troubled water
I will lay me down

「苦難に満ちた世界を渡る橋となって支えてあげよう」という希望に満ちた名曲だが、「I am a Rock」も捨てがたい孤高の歌詞である。

I am a Rock (Paul Simon 作詞、作曲)

I am a rock, I am an island.

Paul Simon は作詞の才能に恵まれただけでなく、ギター演奏も高く評価されている。特に「Anji」の名演奏はギタリストで知らない人はなく、多くの名手が挑戦している。

1981年、ニューヨークのセントラルパークでの再結成チャリティーコンサートでは53万人の観衆が詰めかけ大きな話題となった。

古き良き伝統的フォークソングならブラザーズフォアであろう。グリーンフィールド、遙かなるアラモ、グリーンズリーブズ、など多くの有名な歌があるが、最も好きなのは「七つの水仙」である。



Seven Daffodils（七つの水仙）

I may not have mansion, I haven't any land, not even a paper dollar ~

「大きな家も土地も金も持っていないが、あなたに七つの水仙をあげよう」

毎年、庭に日本スイセンが咲くと7本を摘みとり飾るのが我が家の恒例行事である。

参考資料：Wikipedia など

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2025年4月9日